

# 支援プログラム

児童発達支援・放課後等デイサービス  
事業所名 おひさまはうす きっず

作成日：令和6年4月1日

理念	○笑顔でいつもキラキラと輝いているおひさまはうす ○子どものありのままを受け止め、将来まで見据えた支援 ○スタッフ・子ども・家族と一緒に成長できる体制		
支援方針	子どもやその家族、関係機関との対話をし、寄り添うことを大切にしながら、 子どもの自立・社会参加を目指し、将来まで見通した療育や支援を行う。		
営業時間	9：00～17：00	送迎実施の有無	有
<b>支 援 内 容</b>			
健康・生活	○基本的な生活スキル獲得（クッキング・手洗い等視覚化による支援） ○日常生活動作の獲得（食事、更衣、洗濯、清掃、排せつ等） ○構造化等による生活環境の調整（1日の流れを視覚化）		
運動・感覚	○姿勢と運動・動作の基本的技能の向上（運動遊び） ○保有する感覚の活用（リトミック、ボールプール、リズム遊び等） ○感覚の特性への対応（特性に応じた感覚導入、工作活動）		
認知・行動	○感覚や認知の活用（リズムに合わせた運動療育、遊具やボールを使った遊び） ○知覚からの行動（視覚、聴覚、触覚等感覚機能を重視した SST） ○認知や行動の手がかりとなる概念の形成（創作活動、絵本の読み聞かせ等）		

<p>言語 コミュニケーション</p>	<p>○言語の形成と活用（絵カード、知育玩具、各活動の中で言語獲得） ○人との交流によるコミュニケーション能力の獲得（集団遊び、伝言ゲーム等） ○コミュニケーション機器の活用 （保有するコミュニケーション手段と合わせてジェスチャー・絵カード等を活用して意思伝達）</p>		
<p>人間関係 社会性</p>	<p>○模倣行動の支援（ごっこ遊び、見立て遊び等） ○発達段階に合わせた感覚遊びから象徴遊びへの支援（遊びへつなげる環境整備） ○一人遊びから集団遊びへの支援（役割を決めた集団遊び、簡易スポーツ）</p>		
<p>家族支援</p>	<p>○家族の困り感に対する相談援助 ○子どもの実態についての情報共有や その後の支援 ○子どもやその家族に寄り添い、 安定した関係構築のための支援</p>	<p>移行支援</p>	<p>○移行先の受け入れ体制づくりへの協力 ○移行先への相談援助 ○進路や移行先についての本人や家族への 相談援助</p>
<p>地域支援・地域連携</p>	<p>○事業所間連携 ○学校・病院その他関係機関との連携</p>	<p>職員の質の向上</p>	<p>○週に一回事業所内研修の実施 ○外部研修受講のための金銭的援助</p>
<p>主な行事等</p>	<p>○季節の行事(クリスマス、ハロウィン、お正月、節分等) ○遠足（年に三回程度） ○お誕生日会(毎月)</p>		

# 支援プログラム

放課後等デイサービス  
事業所名 おひさまはうす じゅにあ

作成日：令和6年4月1日

理念	○笑顔でいつもキラキラと輝いているおひさまはうす ○子どものありのままを受け止め、将来まで見据えた支援 ○スタッフ・子ども・家族と一緒に成長できる体制		
支援方針	子どもやその家族、関係機関との対話をし、寄り添うことを大切にしながら、 子どもの自立・社会参加を目指し、将来まで見通した療育や支援を行う。		
営業時間	9:00~17:00	送迎実施の有無	有
支 援 内 容			
健康・生活	○基本的な生活スキル獲得（クッキング・手洗い等視覚化による支援） ○日常生活動作の獲得（食事、更衣、洗濯、清掃、排せつ等） ○構造化等による生活環境の調整（1日の流れを視覚化）		
運動・感覚	○姿勢と運動・動作の基本的技能の向上（運動遊び） ○保有する感覚の活用（リトミック、ボールプール、リズム遊び等） ○感覚の特性への対応（特性に応じた感覚導入、工作活動）		
認知・行動	○感覚や認知の活用（リズムに合わせた運動療育、遊具やボールを使った遊び） ○知覚からの行動（視覚、聴覚、触覚等感覚機能を重視した SST） ○認知や行動の手がかりとなる概念の形成（創作活動、絵本の読み聞かせ等）		

<p>言語 コミュニケーション</p>	<p>○言語の形成と活用（絵カード、知育玩具、各活動の中で言語獲得） ○人との交流によるコミュニケーション能力の獲得（集団遊び、伝言ゲーム等） ○コミュニケーション機器の活用 （保有するコミュニケーション手段と合わせてジェスチャー・絵カード等を活用して意思伝達）</p>		
<p>人間関係 社会性</p>	<p>○模倣行動の支援（ごっこ遊び、見立て遊び等） ○発達段階に合わせた感覚遊びから象徴遊びへの支援（遊びへつなげる環境整備） ○一人遊びから集団遊びへの支援（役割を決めた集団遊び、簡易スポーツ）</p>		
<p>家族支援</p>	<p>○家族の困り感に対する相談援助 ○子どもの実態についての情報共有や その後の支援 ○子どもやその家族に寄り添い、 安定した関係構築のための支援</p>	<p>移行支援</p>	<p>○移行先の受け入れ体制づくりへの協力 ○移行先への相談援助 ○進路や移行先についての本人や家族への 相談援助</p>
<p>地域支援・地域連携</p>	<p>○事業所間連携 ○学校・病院その他関係機関との連携</p>	<p>職員の質の向上</p>	<p>○週に一回事業所内研修の実施 ○外部研修受講のための金銭的援助</p>
<p>主な行事等</p>	<p>○季節の行事(クリスマス、ハロウィン、お正月、節分等) ○遠足（年に三回程度） ○お誕生日会(毎月)</p>		

# 支援プログラム

放課後等デイサービス  
事業所名 おひさまはうす あんふあん

作成日：令和6年4月1日

理念	○笑顔でいつもキラキラと輝いているおひさまはうす ○子どものありのままを受け止め、将来まで見据えた支援 ○スタッフ・子ども・家族と一緒に成長できる体制		
支援方針	子どもやその家族、関係機関との対話をし、寄り添うことを大切にしながら、 子どもの自立・社会参加を目指し、将来まで見通した療育や支援を行う。		
営業時間	9：00～17：00	送迎実施の有無	有
支 援 内 容			
健康・生活	○基本的な生活スキル獲得（クッキング・手洗い等視覚化による支援） ○日常生活動作の獲得（食事、更衣、洗濯、清掃、排せつ等） ○構造化等による生活環境の調整（1日の流れを視覚化）		
運動・感覚	○姿勢と運動・動作の基本的技能の向上（運動遊び） ○保有する感覚の活用（リトミック、ボールプール、リズム遊び等） ○感覚の特性への対応（特性に応じた感覚導入、工作活動）		
認知・行動	○感覚や認知の活用（リズムに合わせた運動療育、遊具やボールを使った遊び） ○知覚からの行動（視覚、聴覚、触覚等感覚機能を重視した SST） ○認知や行動の手がかりとなる概念の形成（創作活動、絵本の読み聞かせ等）		

<p>言語 コミュニケーション</p>	<p>○言語の形成と活用（絵カード、知育玩具、各活動の中で言語獲得） ○人との交流によるコミュニケーション能力の獲得（集団遊び、伝言ゲーム等） ○コミュニケーション機器の活用 （保有するコミュニケーション手段と合わせてジェスチャー・絵カード等を活用して意思伝達）</p>		
<p>人間関係 社会性</p>	<p>○模倣行動の支援（ごっこ遊び、見立て遊び等） ○発達段階に合わせた感覚遊びから象徴遊びへの支援（遊びへつなげる環境整備） ○一人遊びから集団遊びへの支援（役割を決めた集団遊び、簡易スポーツ）</p>		
<p>家族支援</p>	<p>○家族の困り感に対する相談援助 ○子どもの実態についての情報共有や その後の支援 ○子どもやその家族に寄り添い、 安定した関係構築のための支援</p>	<p>移行支援</p>	<p>○移行先の受け入れ体制づくりへの協力 ○移行先への相談援助 ○進路や移行先についての本人や家族への 相談援助</p>
<p>地域支援・地域連携</p>	<p>○事業所間連携 ○学校・病院その他関係機関との連携</p>	<p>職員の質の向上</p>	<p>○週に一回事業所内研修の実施 ○外部研修受講のための金銭的援助</p>
<p>主な行事等</p>	<p>○季節の行事(クリスマス、ハロウィン、お正月、節分等) ○遠足（年に三回程度） ○お誕生日会(毎月)</p>		